

# 平成28年度横浜市民体育大会テニス競技(第16回ミックスダブルス大会)

## 〈大会役員〉

大会名誉会長	林 文子	横浜市長	大会会長	山口 宏	(公財) 横浜市体育協会会長
大会副会長	西山 雄二	横浜市市民局長		日下 啓二	横浜市テニス協会会長
大会顧問	濱 陽太郎	(公財) 横浜市体育協会副会長		河原 智	(公財) 横浜市体育協会副会長
	尾島 良一	(公財) 横浜市体育協会副会長		日下 啓二	(公財) 横浜市体育協会副会長

## 〈競技役員〉

競技委員長 飛田 敏 男

競技副委員長 平 沢 菜雅子

レフェリー 川 上 利 勝

## アシスタントレフェリー

〔市協会〕 相良 治夫・窪田 洋久・入澤 多恵子・関 宏一・関場 和子・東方 久美子・大村幸雄・九鬼 博  
竹田 博英・高杉 絹子

〔審判員〕 横浜市テニス協会所属 審判委員会

## 〔注 意 事 項〕

1. 本大会は、すべてのプレーヤーを公平に取り扱います。
2. 出場選手はドロー記載の所定時刻の10分前までにテニスプレーのできる準備をして、ペアで受付に届け出てください。ドロー記載の所定時刻に遅刻した場合は直ちに棄権とみなします。
3. 天候より大会開催の有無不明の場合も定刻までに参集して集合場所で開催の有無を確認してください。(午前11時までに最終決定をします) また使用コートは狭入り人工芝・オールウェザー等ですので、天候が回復すれば試合時間をずらして行なうことがあります。なお各会場公園事務所への試合開催の有無について電話での問い合わせはしないでください。(公園事務所職員は大会運営に関与しておらず回答ご責任を持ちませんし他の業務で支障をきたし迷惑の恐れがありますので絶対おこなわないでください)
4. 試合は8ゲームズプロセット(8オールタイプブレイク)とします。  
ただし、一般種目は準々決勝から、年輪別種目では準決勝から2タイプブレイクセット(6オールタイプブレイクゲームズ有り)ファイナルセットマッチタイプブレイク(10P)とします。
5. 使用球はブリヂストンX18 イエロー、2球使用。8ゲームズプロセットの試合ではボールチェンジはなしとします。
6. 試合はセルフジャッジとします。別ページの「セルフジャッジについて」をご覧ください十分ご理解の上スポーツマンシップに則ってトラブルのないようフェアに試合を進めてください。準決勝・決勝戦はソロチェアアンパイアをつけたり会場によってはロービングアンパイアを配置したりする事があります。
7. 試合時の着衣はテニスウェアとします。天候によってはレフェリー判断でウォームアップスーツでのプレーを認める場合があります。なおロゴの規定は原則としてJTA規定に準じます。フェイスマスクの着用は不可とします。
8. ウォーミングアップはサービスマス練習8球以内として直ちに試合を行ってください。
9. メディカルタイムアウトを要求する時は必ずロービングアンパイアまたはレフェリーに申し出て許可を得てください。ケイレンなど自然的体力の消耗による試合の中絶や休憩は規則により認められません。(エンドチェンジ、セットブレイクの決められた時間内で自分自身で手当をする事できます)
10. トイレ、ドリンクや飲み物補給など必要な理由で試合中、一時コートを離れる必要がある時、体調不良やケガでリタイアをした時は必ずロービングアンパイアまたはレフェリーに申し出て許可を得てください。(対戦相手との話し合いだけでコートを離れたり試合を終了する事できません)
11. 次回の試合の日程は各自で必ず確認してください。(自分の試合予定日より前日雨天の日があった場合等で予定どおり試合が消化できなかったときには、当初予定の試合日程および会場が変更されていることもあります。予めウインザーラケットショップ横浜店、井上スポーツ、ラックたまプラーザ店、ラックテニススポット港南台および横浜市テニス協会ホームページ等で日程を確認してから会場においで下さい)
12. 本大会はスポーツ障害保険が加入していますので、プレー中にケガをされた方は、コートレフェリーに申し出てください。
13. 盗難予防のため貴重品は各自責任を持って管理してください。持ち物の紛失、盗難に関し公園管理事務所および横浜市テニス協会は責任を負いませんので予め御了解ください。(忘れ物にもご注意ください。忘れ物が本部に届いた場合でも会場事務所にお知らせください)
14. コート内に飲み物を持ち込むときは飲み口がキャップで封閉可能なボトルとしてください。
15. 駐車場について  
公共交通機関をご利用下さい。富岡西公園は大会参加者の駐車場利用は禁止されています。
16. ゴミの持ち帰り禁止と禁煙協力依頼  
ほとんどの会場にはゴミ箱の設備がありません。会場で発生させたゴミは各自お持ち帰りいただきますようお願い致します。ゴミ箱の設備のある会場でも応援者を含む本大会の関係者はゴミの持ち帰りにご協力戴きますようお願い致します。また会場での禁煙にご協力下さい。いずれのスポーツ施設でも禁煙が原則です。吸い殻ゴミの発生防止のためにも是非ご協力下さい。
17. 試合が終了したら勝者は直ちにスコアシートを整え勝者サインをした上、大会本部に報告し、あわせて使用済みボールを返却してください。
18. 上記注意事項やルール(JTA最新Rule)適用でレフェリーやアンパイア・ロービングアンパイアの指示に従わない場合、失格になることがあります。

(Mix2016-1)

## 【試合前の準備とセルフジャッジについて】(チェアアンパイアのつかない 試合規則から)

1. 試合が始まる前コートネットの高さは正しいか(シングルスの場合シングルスティックが正しい位置に立っているか)を確認する。
2. ウォームアップの前コートスをやる。トスの勝者はサービスまたはレシーブを選択するカートのエンドを選ぶ事ができる。  
勝者がサービスまたはレシーブを選択した場合敗者はエンドを選び、勝者がエンドを選んだ場合敗者はサービスかレシーブかを選ばなければならない。また勝者敗者どちらかを選ばせる事もできる。
3. 指示されたウォームアップ方法を厳密に守る。
4. 判定以下のように行う。
  - ・アウト、フォールト、サービスの“ネット”の判定は審判的相手と聞こえるような声とハンドシグナルで行なう。(一旦アウトまたはフォールトとコールしそれをグッドと訂正した場合そのプレーヤー(ペア)は失点する。ダブルスの場合、あるプレーヤーが“アウト”と判定したが、そのパートナーが“グッド”とした場合、そのペアは失点する)
  - ・相手の打ったボールがインかアウトかはっきりしない場合はインと見なして試合を続行する。(レットにはしてはならない)
  - ・相手コート上のボールの判定は相手にかまかせ、たずねられないの入口を出さない。
  - ・相手が自分よりボールを見るのに良い位置にいた場合は自分のコート上のボールの判定にも相手の意見を求めなければならない。互いにジャッジできない場合はグッドとみなして試合を進める。
  - ・判定について観客や相手以外のプレーヤーの助けを求めてはならない。
5. サービスのレット(ネットイン)はレシーバー(ペア)のみがレットをコールできサーバー(ペア)にはその権利がない。(誤ってサーバー(ペア)がサービスのレットをコールした場合そのコールによってプレーが中断した場合サーバー(ペア)の失点となる。ただしレシーバー(ペア)がそのコールに同意した場合はサービスのレットとなる)
6. サーバーは新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットが始まる前に必ずレシーバーに聞こえるような大きな声でスコアをアナウンスしてからサーブをする。  
(レシーバーはサーバーのスコアアナウンスに対し正しく聞こえたら同意を示すため、声またはジェスチャーによって合図を送らなければならない。疑義がある場合は直ちに確認を行う。次のプレーが開始されたらさかのぼって訂正を求める事はできない)
7. スコアが分からなくなったときは双方(ペア)が合意できるスコアまでさかのぼりそのスコアに、合意できたスコア以降スコアが分からなくなったポイントまでの間で双方が合意できる、それぞれが取ったポイントの足したスコアからプレーを再開する。再開するときサーブするサイドは再開のポイントのスコアに準ずる。ゲームスコアが分からなくなったときも同様処置する。
8. スコアボードのあるコートではエンドチェンジのときにスコアボードの更新をする。選手名のないスコアボードでは上下に数字があるものでは上をドローナンバーの若いプレーヤー(ペア)の、左右に数字があるもので左側をドローナンバーの若いプレーヤー(ペア)のスコアとする。
9. インプレー中他のコートからのボールが自分達のコートのプレーゾーンに入ってきたり、物が風で飛んできたりして妨害が起きた場合は直ちに「レット」とコールして(どちらのプレーヤーがコールしても良い)プレーをやり直すことができる。  
ただしレットがコールされた時に、次の状況が起きた場合はレットは取り消されそのポイントは成立する。
  - (1) レットがコールされる前打たれたボールがコートに正しく入らなかった場合、そのボールを打ったプレーヤーは失点する。
  - (2) レットがコールされる前打たれたボールが、明らかなウイニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤーの得点となる。  
ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとして、ポイントのやり直しを要求することはできない。
10. インプレー中持ち物を落とした場合それが一回目のときは直ちにレットをコールして(どちらのプレーヤー(ペア)もレットをコールできる)プレーを停止する。  
この後その落とし主(ペア)が次からは落とすたびに失点となることを互いに確認して試合を続行する。  
ただしレットがコールされた時に、次の状況が起きた場合はレットは取り消されそのポイントは成立する。
  - (1) レットがコールされる前打たれたボールがコートに正しく入らなかった場合、そのボールを打ったプレーヤーは失点する。
  - (2) レットがコールされる前打たれたボールが、明らかなウイニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤーの得点となる。  
ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとして、ポイントのやり直しを要求することはできない。
11. 緊急なトイレ休憩や飲み物補給、着衣の突然の不具合などさまざまなやむを得ない理由で試合中一時コートを離れなくてはならないときは相手とその旨を告げると共にロービングアンパイアまたはレフェリー(含むアシスタントレフェリー;以下同様)に申し出許可を得る。
12. 相手の判定が常に著しく不適当に行われていると判断される場合、言動やフットフォールトに疑問、あるいは不届助があるときはロービングアンパイアまたはレフェリーに申し出て対処を求める事ができる。
13. 選手間で解決できないトラブルが生じたときはロービングアンパイアまたはレフェリーに申し出る。
14. コートサイドに携帯電話を持ち込む場合には必ず電源を切って持ち込むこと。プレーヤーは試合中に携帯電話やトランシーバー、CDプレーヤーなどを使用することはできません。
15. 試合が終了したら勝者は直ちにスコアシートを整え勝者サインをした上、大会本部に報告し、あわせて使用済みボールを返却する。  
(上記記載以外のルールは「JTA TENNIS RULE BOOK 最新版」に準拠します。)